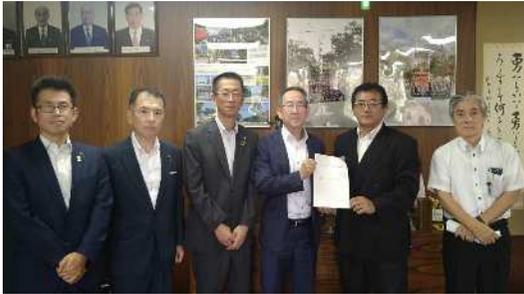


東海市	所属議員	工藤政明
-----	------	------

産業目線

【活動選定項目】	①カーボンニュートラル(CN)への対応										
具体的取り組み項目	次世代自動車を核とした脱炭素に向けた具体的な取組の推進や施策の立案を行う。 項目① 市が保有する 公用車に対する次世代自動車の導入割合 を高める。 【目標 2030年度までに3割】 項目② 公共施設への 電気自動車充電設備の拡充と市民への開放 を行う。 【目標 2030年度までに市民開放設備を設置】 項目③ 次世代自動車の普及や活用を促すための啓発や購入の優位策 を具体化する。 【目標 2030年度までに制度化】										
前回まで 活動状況	○温室効果ガス排出量削減の取組について、これまでと今後の考えを関係部署から意見聴取。(2021年8月) ○カーボンニュートラルへの対応を含めた「地球温暖化対策の取組」を題材に現状の把握として 一般質問 を実施。(2021年9月)										
今回 具体的活動	<p>○「地球温暖化対策の取組」を題材にした一般質問によって 顕在化した課題(所感)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> カーボンニュートラルの到達目標が中長期的な取組のため、 具体的な政策立案に至っていない。【課題】⇒ 要望を提示する意義が生まれる。【チャンス】 </div> <p>○東海商工会議所との行政情報交換会を開催 中小企業経営者が抱える課題や事業支援策等の要望をうかがう情報交換会を開催。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 交わされた意見 ・コロナ禍の影響を受け続け、厳しい経営環境が続いている。 (主なもの) ・ゼロカーボンシティ宣言を含めた東海市のCN施策がどのように進むのか。 ・商工振興施策についての特段の支援をお願いしたい。 </div> <p>○新年度(令和4年度・2022年度)予算への反映を要望する 要望書を市長へ提出</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 予算要望書(抜粋) 項目)産業 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No.</th> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 65%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>環境性能に優れた自動車の普及加速に向けた誘因策</td> <td>市民や企業等が環境性能に優れた自動車を購入する誘因策として、 購入補助金制度を創設するための予算の確保を求める。 取り組み項目③</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>カーボンニュートラルの実現に向けた誘因策</td> <td>ネットゼロエネルギービル化や高効率設備導入の誘因策として、 導入補助金制度を創設するための予算の確保を求める。</td> </tr> </tbody> </table>	No.	項目	内容	1	環境性能に優れた自動車の普及加速に向けた誘因策	市民や企業等が 環境性能に優れた自動車を購入する誘因策 として、 購入補助金制度を創設するための予算の確保 を求める。 取り組み項目③	2	カーボンニュートラルの実現に向けた誘因策	ネットゼロエネルギービル化や 高効率設備導入の誘因策 として、 導入補助金制度を創設するための予算の確保 を求める。	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p> <p>○東海商工会議所との行政情報交換会 (左端が工藤政明)</p>  <p>○所属する会派から市長へ 新年度予算要望書を提出 (右3人目が市長、左2人目が工藤政明)</p> 
No.	項目	内容									
1	環境性能に優れた自動車の普及加速に向けた誘因策	市民や企業等が 環境性能に優れた自動車を購入する誘因策 として、 購入補助金制度を創設するための予算の確保 を求める。 取り組み項目③									
2	カーボンニュートラルの実現に向けた誘因策	ネットゼロエネルギービル化や 高効率設備導入の誘因策 として、 導入補助金制度を創設するための予算の確保 を求める。									
今後の活動	○ 新年度当初予算編成の進捗状況 に関する意見聴取を行う。 ○関係部署からの意見聴取を定期的に行うことで、 温室効果ガス排出量削減の取組状況 (進捗や課題、国や県の動き等)を 把握 する。(随時)										